

ゴゼンタチバナ ミズキ科
Cornus canadensis L.

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：—



三国山 2004.6.23/撮影：永松 大

■選定理由：県内では三国山のブナ帯上部にわずかに自生するが、チシマザサの密生により個体群は絶滅寸前。

■特徴：亜高山帯の針葉樹林内に生育する小型の多年生草本。高さ20 cmほどになる。葉は茎頂に1対、葉腋に2対つき、6枚が輪生しているように見える。花の咲かない茎では葉は4枚であることが多い。花期は6月、長さ3 cmほどの花柄の先に白色、花弁状の総苞片が4枚、長さ2 cmほど、頭状に集中して10-20個の小さな花をつける。果実は石果で球形、赤熟する。三国山では、開花個体はごくまれで、個体群の存続が心配される。

■分布 県内：三朝町。県外：北海道、本州（中部以北）、愛媛県。

■保護上の留意点：採取防止。チシマザサを含む林床の管理。ブナ自然林の保全。

■特記事項：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■文献：—

執筆者：永松 大